



# CHAPTER 7

## ターミナルの設定

この章では、ターミナルの設定について説明します。内容は次のとおりです。

- 「ターミナルの概要」 (P.7-1)
- 「コンソール ターミナルの画面長の設定」 (P.7-2)
- 「コンソール ターミナルの画面幅の設定」 (P.7-2)
- 「ターミナル設定の表示」 (P.7-3)
- 「コンソール接続のタイムアウトの設定」 (P.7-3)
- 「SSH および Telnet 接続のタイムアウトの設定」 (P.7-4)
- 「スイッチへの回線接続のクリア」 (P.7-5)
- 「現在のセッションのタイムアウトの設定」 (P.7-5)

### ターミナルの概要

ターミナルタイプ、ディスプレイ、タイムアウト、およびその他の設定をコンソール ターミナルに設定できます。

### ターミナル タイプの定義

ここで説明する手順に従って、スイッチで使用するターミナルのタイプを定義します。

#### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナル セッションにログインしている必要があります。

## ■ コンソール ターミナルの画面長の設定

### 手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 terminal terminal-type <i>type</i>  例: n1000v# terminal terminal-type vt100 n1000v#	スイッチのターミナル タイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 有効なタイプ = vt100、xterm など</li><li>• デフォルト = vt100</li><li>• 最大文字数 = 80 文字</li></ul> Telnet または SSH セッションに不明なターミナル タイプが使用されている場合、スイッチはデフォルトの vt100 を使用します。

## コンソール ターミナルの画面長の設定

次の手順に従って、現在のコンソール セッション中に画面に表示する行数を設定します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- この手順が適用されるのはコンソール ポートだけです。Telnet および SSH セッションでは、ターミナル長は自動的に設定されます。
- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナル セッションにログインしている必要があります。

### 手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 terminal length <i>number of lines</i>  例: n1000v# terminal length 20 n1000v#	現在のコンソール セッションで画面に表示する行数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 範囲 = 0 ~ 511 行</li><li>• デフォルト = 24 行</li><li>• 無効 = 0 (続けてスクロール)</li></ul>

## コンソール ターミナルの画面幅の設定

次の手順に従って、現在のコンソール セッション中に画面の 1 行に表示する文字数を設定します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- この手順が適用されるのはコンソール ポートだけです。Telnet および SSH セッションでは、ターミナル幅は自動的に設定されます。
- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナル セッションにログインしている必要があります。

## 手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <b>terminal width</b> <i>number of characters</i>  例： n1000v# terminal width 86 n1000v#	現在のコンソールセッションで各行に表示する文字数を設定します。 • 範囲 = 24 ~ 511 文字 • デフォルト = 88 文字

## ターミナル設定の表示

次の手順に従って、現在のセッションのターミナル設定を表示します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- 任意のコマンドモードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

## 手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 <b>show terminal</b>  例： n1000v# show terminal TTY: /dev/pts/8 type: "vt100" Length: 24 lines, Width: 88 columns Session Timeout: None n1000v#	現在のセッションのターミナル設定を表示します。

## コンソール接続のタイムアウトの設定

次の手順に従って、非アクティブなコンソールセッションを開いたままにしておく時間を分単位で指定します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

## ■ SSH および Telnet 接続のタイムアウトの設定

## 手順の詳細

コマンド	目的
<b>ステップ1 config t</b>  例: n1000v # config t n1000v(config) #	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>ステップ2 line console</b>  例: n1000v(config) # line console n1000v(config-console) #	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>ステップ3 exec-timeout minutes</b>  例: n1000v(config-console) # exec-timeout 60 n1000v(config-console) #	非アクティブなコンソール セッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。セッションの非アクティブな状態が、ここに指定した時間を超えた場合、セッションは自動的に終了されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 範囲 = 0 ~ 525、600 分</li> <li>• デフォルト = 30 分</li> <li>• 無効（タイムアウトなし）= 0 分</li> </ul> タイムアウトをゼロに設定した場合、コンソール接続はユーザが閉じるまで切断されません。

## SSH および Telnet 接続のタイムアウトの設定

次の手順に従って、非アクティブな SSH または Telnet セッションを開いたままにしておく時間を分単位で指定します。

## 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナル セッションにログインしている必要があります。

## 手順の詳細

コマンド	目的
<b>ステップ1 config t</b>  例: n1000v # config t n1000v(config) #	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンド	目的
<b>ステップ 2 line vty</b>  例： n1000v(config)# line vty n1000v(config-line)#	仮想端末回線コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>ステップ 3 exec-timeout minutes</b>  例： n1000v(config-line)# exec-timeout 60 n1000v(config-line)#	非アクティブな Telnet または SSH セッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。セッションの非アクティブな状態が、ここに指定した時間を超えた場合、セッションは自動的に終了されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 範囲 = 0 ~ 525、600 分</li> <li>• デフォルト = 30 分</li> <li>• 無効（タイムアウトなし）= 0 分</li> </ul> タイムアウトをゼロに設定した場合、回線接続はユーザが閉じるまで切断されません。

## スイッチへの回線接続のクリア

次の手順に従って、スイッチへの特定の回線接続を終了します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

### 手順の詳細

コマンド	目的
<b>ステップ 1 clear line aux</b>  例： n1000v# clear line aux n1000v #	回線接続を終了します。

## 現在のセッションのタイムアウトの設定

次の手順に従って、スイッチが現在のターミナルセッションをシャットダウンするまでに、セッションを開いておく最長時間を分単位で設定します。

### 始める前に

この手順を開始する前に、次の事柄を理解または実行しておく必要があります。

- EXEC モードで CLI を使用して、ターミナルセッションにログインしている必要があります。

## ■ 現在のセッションのタイムアウトの設定

## 手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 terminal session <i>minutes</i>  例: n1000v# terminal session 600 n1000v#	スイッチが現在のターミナルセッションをシャットダウンするまでに、セッションを開いたままにしておく時間を分単位で設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 範囲 = 0 ~ 525、600 分</li><li>• 無効（タイムアウトなし）= 0 分</li></ul> この変更の適用対象は現在のセッションに限られるため、変更はコンフィギュレーションファイルに保存されません。